



宮崎日日新聞 (2018年5月20日付) 23面に掲載されました。

先日開催されました県障がい者スポーツ大会・陸上男子肢体不自由・上肢39歳以下100メートルにおきまして、大会新記録を樹立しました 本校普通科スポーツ科学コース1年生山本輝さん (本郷中出身) が、障がい者100m日本記録保持者の甲斐 哲郎さんからの指導を受けたことに関する記事が掲載されました。



### 楽しんで記録伸ばして

「同様の障害がありながら、陸上競技に打ち込む高校生アスリートを応援したい」。左手に障害を抱えながら1998年の全国高校総体陸上男子200mで優勝した宮崎市の団体職員甲斐哲郎さん(37)が19日、同じく左手に障害がある同市の陸上短距離選手山本輝さん(15)と初対面し、直接指導した。山本さんの目標は、甲斐さんの持つ障害者100m日本記録(11秒51)の更新。甲斐さんは「仲間と楽しみながら練習を重ね、日本新を出して」とエールを送った。

### 同じ障害の山本さん(宮崎学園高)指導

甲斐さんは2歳の時、左手を農機具にはさま手首から先を切断。田野中1年で陸上を始め、宮崎工高3年時には100mが10秒55の自己ベストをマークするなど活躍した。13日の県障がい者スポーツ大会で、先天性左手指欠損症の山本さんの存在を知った甲斐さん。自分の記録更新を目標にしていることを聞き「経験を伝えられたら」と宮崎市の練習先へ訪問を思い立った。

突然の訪問に驚く山本さんに歩み寄り、握手を交わした甲斐さん。走りのフォームやスタートの姿勢、腕の振り方などを丁寧に指導し、リラックスして走ることの大切さなどを伝えた。

山本さんは「同じ障害者で、苦労や気持ちの分かる人から指導してもらい、本当にうれしかった。『人よりも努力して』と言われ、頑張る気になった。11秒3台を目指したい」と笑顔。

甲斐さんは「自分の高校時代を見ているよう。グラウンドは障害を気にせず、自身をアピールできる居心地のいい場所。練習方法を工夫し、記録を伸ばしてほしい」と話していた。(中野裕)

山本輝さんの走りを見たいと練習に訪れた甲斐哲郎さん(右)＝19日午後、宮崎市錦本町の県有グラウンド(米丸慎撮影)

山本輝さんと握手を交わす甲斐哲郎さん(右)＝19日午後、宮崎市錦本町の県有グラウンド(米丸慎撮影)

「宮崎日日新聞社 提供」

目標にしている選手から指導を受けられるなんて感激ですね♪



次は高校総体ですね！頑張ってください！

